義務教育学校　能勢ささゆり学園　　学校だより
学　び　の　丘
すべての子どもたちが学びの楽しさと喜びを感じる学校
発行 Vo.3 2025年 6月 30日
発行責任者 校長 山本 直樹

梅雨明けの夏の陽ざしを感じ、山々の緑が一層深みを増す季節となりました。子どもたちはそれぞれのステージで学びを深めています。

前期課程運動会

６月７日（土）前期課程（１～６年生）の運動会を開催しました。運動会の目標は子どもたちが考え「あきらめず１２０％の気持ちで最高の運動会にしよう～全力で戦え！全員で楽しめ！勝っても負けても声を出せ！みんなでがんばるぞ！～」となりました。

開会式では少し緊張しながらも、いざ応援合戦が始まると、目標通り赤組も白組も元気いっぱいに声を出し、会場が子どもたちのパワーに包まれました。その後のプログラムでは仲間と心を合わせて全力で演技・競技にとりくむ姿に、会場から温かい拍手が送られました。

団体演技では低・中・高学年それぞれの学年のカラーが光る発表が続き、どの子も一生懸命に表現していました。

高学年の５・６年生は係活動として、競技の準備や道具の片付け、アナウンスなどに積極的にとりくみ、運動会の運営を支えました。運動会を通して学年を越えたつながりと、それぞれの役割の大切さを実感することができました。

９年生 修学旅行（沖縄方面）

９年生は、６月１５日（日）から３日間、沖縄方面に修学旅行に出かけ、歴史や自然、人との触れ合いを通してたくさんの学びを得ることができました。

初日は、沖縄戦に関する平和学習が中心でした。「ひめゆり資料館」では、ひめゆり学徒隊がたどった過酷な戦争の現実に触れることができました。「糸数アブチラガマ」では懐中電灯の明かりだけを頼りに暗く湿ったガマ（自然洞窟）の中を進みながら、戦時中の様子を想像しました。平和祈念公園では、「平和の礎」に刻まれた多くの名前に、平和の大切さを実感することができました。